

かわづら

国

の歴史と文化

地券取調地図

会期 3月13日(土)～5月9日(日)

休館日：月曜・月曜が祝日の場合は翌日

栗東歴史民俗博物館



# 小地域展 川辺の歴史と文化

【展示解説会】

3月13日(土)・4月10日(土)・5月8日(土) いずれも14:00~15:00

栗東市川辺地区は市域の北東部に位置しています。地区南部に位置する灰塚山の山裾からは市域で最古の考古遺物となる縄文時代の石器が出土しています。またそこから広がる平野部には縄文時代の集落が確認されており、古くから人の営みがあったことが分かっています。

古代から中世にかけては地区中央部の平坦地に集落が形成されていましたが、江戸時代になると東海道に沿って集落が営まれ、中世までの集落は田地へと姿を変えたようです。



川辺地区南端に位置する灰塚山と灰塚池  
灰塚山の山腹、山裾には古墳が複数の古墳が営まれた。また山裾からは栗東市最古の考古遺物が出土している。

川辺地区はなんといってもその集落の名前が特徴的です。川辺と書いて「かわづら」と読みます。地区名は中世には成立していたようで、長享2年(1488)の記録には「河類」として登場します。川辺は「川つら」、「川面」と記されることもあり、金勝川に面して集落が営まれていたことに地区名は由来すると考えられます。江戸時代には概ね「川辺」と記されるようになりこの表記が定着してきました。

栗東歴史民俗博物館が毎年一つの大字を取り上げてその歴史と文化を紹介する小地域展シリーズ、令和2年度はこの川辺地区を特集します。



栗東市最古の出土遺物 縄文時代の石器

灰塚山山裾に築造された南平古墳の発掘調査の際、墳丘周辺から出土した石器。縄文時代のもので、栗東市域では最古の考古遺物。縄文時代の集落は、川辺地区の中央部にひろがる平坦地に確認できる。

## 栗東歴史民俗博物館

〒520-3016 滋賀県栗東市小野 223-8

TEL 077-554-2733/FAX 077-554-2755

URL <http://www.city.ritto.lg.jp/hakubutsukan/>

チラシ表 「栗太郡川辺村地券取調総絵図」(明治6年(1873) / 当館蔵)・小槻大社花笠踊り(川辺地区担当撮影)

題字「川辺」は「栗太郡河辺村検地帳」(延宝7年(1679) / 個人蔵)より

チラシ裏 灰塚山と灰塚池・南平古墳出土縄文時代石器(栗東市教育委員会蔵)

「河類」は『御法興院記』(複製 / 当館蔵 \* 原本 陽明文庫蔵) 長享2年9月20日条・「川面」は『伊勢参宮名所図会』(寛政9年(1797) 刊行 / 当館蔵)より